



ミキサーコンソール

クイックスタートガイド

法的情報

本書について

- 本ドキュメントには、本製品の使用および管理に関する説明が含まれています。以下に記載されている写真、図表、画像、およびその他すべての情報は、説明および解説のみを目的としています。
- 本ドキュメントに記載されている情報は、ファームウェアのアップデートやその他の理由により、予告なく変更される場合があります。本ドキュメントの最新版は、Hikvisionのウェブサイト（<https://www.hikvision.com>）でご確認ください。別段の合意がない限り、Hangzhou Hikvision Digital Technology Co., Ltd. またはその関連会社（以下「Hikvision」といいます）は、明示的または黙示的な保証を行いません。
- 本ドキュメントは、本製品のサポートに関する訓練を受けた専門家の指導および支援を受けてご利用ください。

本製品について

本製品のアフターサービスは、ご購入いただいた国または地域でのみご利用いただけます。

知的財産権に関する免責事項

- Hikvision は、本製品に組み込まれた技術に関連する著作権および/または特許を所有しています。本資料に記載された製品に具現化された技術に関する著作権および/または特許権を所有しており、これには第三者から取得したライセンスが含まれる場合があります。
- 本文書に含まれるテキスト、画像、グラフィックなどを含むすべての部分は、Hikvisionに帰属します。書面による許可なく、いかなる手段によっても、本文書の全部または一部を抜粋、複製、翻訳、または改変することはできません。
- **HIKVISION** およびその他のHikvisionの商標およびロゴは、各管轄区域においてHikvisionの所有物です。
- その他、記載されている商標およびロゴは、それぞれの所有者に帰属します。

法的免責事項

- 適用される法律で許容される最大限の範囲において、本書および記載された製品（そのハードウェア、ソフトウェア、ファームウェアを含む）は、「現状有姿」かつ「すべての欠陥およびエラーを含む」状態で提供されます。HIKVISION は、商品性、満足のいく品質、または特定の目的への適合性を含みますが、これらに限定されません。本製品の使用は、お客様ご自身の責任において行ってください。いかなる場合においても、HIKVISIONは、特別損害、結果的損害、付随的損害、または間接損害（とりわけ、営業利益の損失、事業の中断、データの損失、システムの破損、または文書の紛失を含むがこれらに限定されないいかなる特別損害、結果的損害、付随的損害、または間接損害についても、契約違反、不法行為（過失を含む）、製造物責任、その他いかなる理由に基づくものであっても、本製品の使用に関連して、たとえHIKVISIONがそのような損害または損失の可能性について通知を受けていた場合であっても、一切の責任を負いません。
- お客様は、インターネットの性質上、固有のセキュリティリスクが存在することを認識し、HIKVISIONは、異常な動作、サイバー攻撃、ハッカー攻撃に起因する異常動作、プライバシーの漏洩、またはその他の損害について、一切の責任を負わないものとします。

ウイルス感染、またはその他のインターネットセキュリティ上のリスク。ただし、必要に応じて、HIKVISIONは適時に技術サポートを提供します。

- お客様は、本製品をすべての適用法令に従って使用することに同意し、その使用が適用法令に準拠していることを確保する責任はお客様のみが負うものとします。

特に、お客様は、第三者の権利（宣伝権、知的財産権、またはデータ保護およびその他のプライバシー権を含むがこれらに限定されない）を侵害しない方法で本製品を使用する責任を負います。

パブリシティ権、知的財産権、またはデータ保護およびその他のプライバシー

権利を含みますが、これらに限定されません。お客様は、大量破壊兵器の開発または製造、化学兵器または生物兵器の開発または製造、いかなる核爆発または安全でない核燃料サイクルに関連する活動、あるいは人権侵害を支援する活動など、禁止された最終用途のために本製品を使用してはなりません。

、あるいは人権侵害を支援する活動など、いかなる禁止された用途にも本製品を使用してはなりません。

- 本規約と適用される法律との間に矛盾が生じた場合は、後者が優先するものとします。

© 杭州海康视界デジタル技術有限公司。無断転載を禁じます。

はじめに

本項の目的は、操作上の危険や物的損害を回避するため、本マニュアルを通じてユーザーが製品を正しく使用できるようにすることです。本製品をご使用になる前に、製品マニュアルをよくお読みになり、将来参照できるよう保管してください。

情報の入手

マニュアル、アプリケーションツール、および開発資料については、当社のウェブサイト（www.hikvision.com）をご覧ください。

概要

本マニュアルは、ミキシングコンソール DS-QAPMCR8-A に適用されます。

このマニュアルでは、コンソールの各種機能の使用方法について説明し、コンソールのインストールと使用手順を案内します。

記号の規則

このドキュメントで使用される記号の定義は以下の通りです。

記号	説明
 Note	本文の重要な点を強調または補足するための追加情報を提供します。
 Caution	回避しなければ、機器の損傷、データの損失、性能の低下、または予期せぬ結果につながる可能性のある、潜在的に危険な状況を示します。
 Danger	回避しなければ、死亡または重傷につながる可能性のある、リスクの高い危険を示しています。

安全な使用のための注意事項



- この記号が付いた端末機器は、大電流が流れており、感電の危険があります。1/4インチTSプラグまたはツイストロックプラグ付きの、高品質な業務用スピーカーケーブルのみを使用してください。すべての設置や調整は、資格を持つ専門家が行う必要があります。正規メーカーが提供する電源アダプターをご使用ください。電源アダプターの具体的な要件については、製品データシートをご参照ください。

- この記号は、製品内部に絶縁されていない危険な電圧が存在し、感電の危険があることを警告しています。
- この記号は、同梱されている使用および保守に関する重要な注意事項を参照するよう促すものです。関連するマニュアルをお読みください。
- 感電の危険を避けるため、上部カバー（または背面フラップ）を開けないでください。本機にはユーザーが修理できる部品はありません。修理については、資格を持つ専門業者にご依頼ください。
- 火災や感電の危険を避けるため、本製品を雨や湿気にさらさないでください。本製品に液体が飛び散らないようにし、花瓶などの液体の入った容器を（花瓶など）を置かないでください。
- 本修理手順書は、資格を持つサービス専門技術者のみを対象としています。感電の危険を避けるため、取扱説明書に記載されている以外の修理は行わないでください。
記載されているもの以外の修理は行わないでください。すべての修理は、資格を持つ専門家が行う必要があります。



- この説明書をよくお読みください。
- この取扱説明書は、大切に保管してください。
- すべての警告に十分ご注意ください。
- すべての指示に従ってください。
- 本製品を水の近くで使用しないでください。
- 本製品は乾いた布で拭いてください。
- 通気口をふさがないでください。本製品の設置は、製造元の指示に従ってください。
- ラジエーター、ストーブ、その他の発熱機器（アンプなど）などの熱源の近くには設置しないでください。
- 極性付きプラグまたはアース付きプラグの安全装置を取り外さないでください。アース付きプラグは、2つのプラグ接点とアース端子で構成されています。付属のプラグがお使いのコンセントに合わない場合は、電気工事士に依頼して適切なコンセントに交換してください！
- 電源コードが踏まれたり、穴が開いたりしないよう保護してください。特に電源プラグ、多機能コンセント、および機器の接続部分には十分注意してください。
- メーカー指定の付属機器およびアクセサリーのみをご使用ください
- メーカーが指定したもの、または本製品に付属しているトrolley、棚、三脚、スタンド、テーブルのみを使用してください。トrolleyを使用して機器を移動させる場合は、トrolleyや機器が転倒して怪我をするのを防ぐため、トrolleyや機器の転倒による怪我を防ぐよう、機器を安全に配置してください。
- 雷や雷鳴が聞こえる場合、または本機を長期間使用しない場合は、電源プラグをコンセントから抜いてください。
- 修理は、資格を持つサービス担当者が行う必要があります。電源コードやプラグが破損している場合など、機器が損傷した場合は修理が必要です。
機器に液体や異物が侵入した場合、機器が

雨や湿気にさらされた場合、機器が正常に動作しない場合、または機器を落とした場合。

- 本機器は、接地保護が施された電源に接続する必要があります。
- 電源プラグまたはアプライアンスケーブルを切断装置として使用する場合は、いつでも容易に操作できることを確認してください。
- 本製品は、海拔 2000 メートルまでの地域でのみ使用可能であり、熱帯気候以外の気候条件でのみ使用可能です。

Note

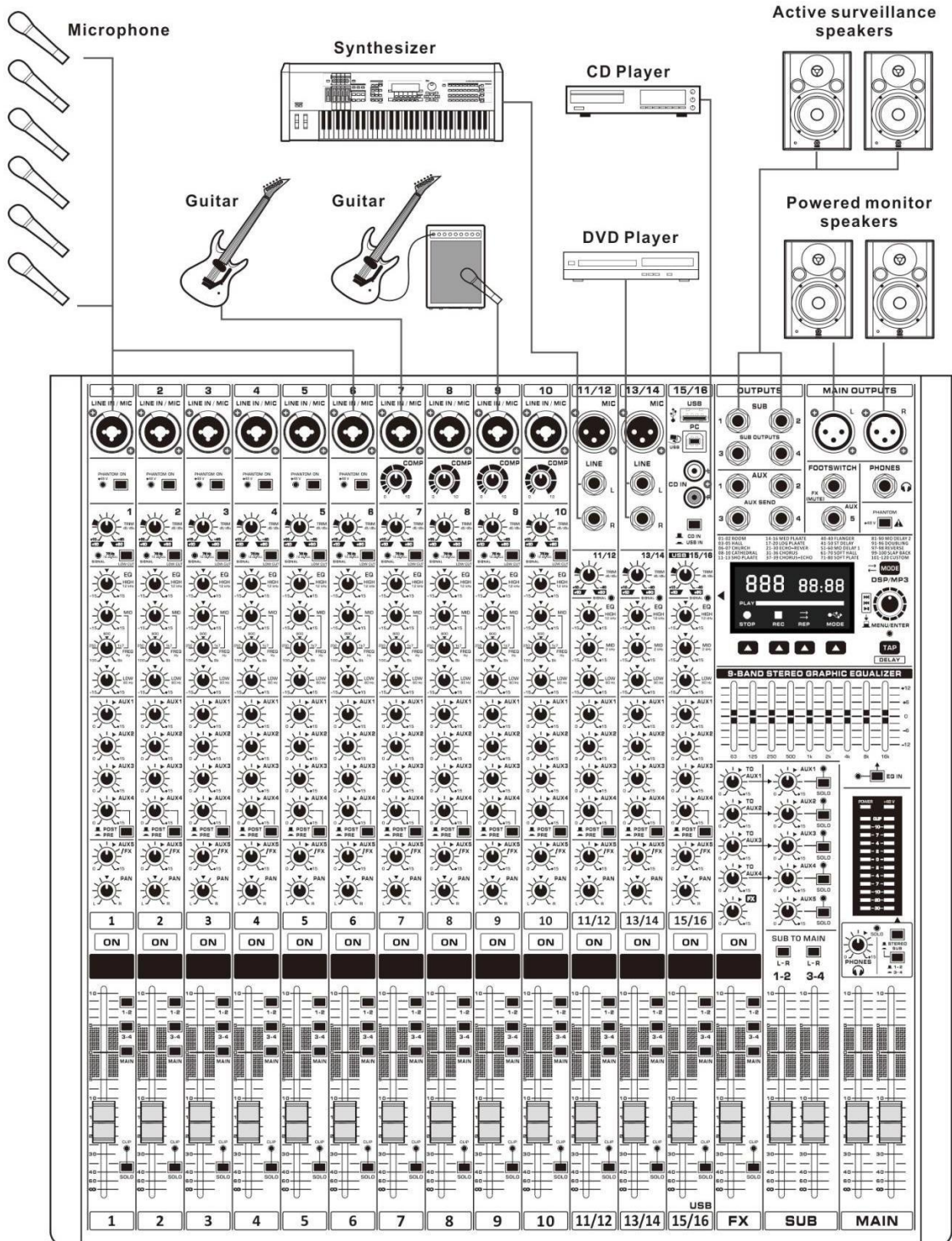
設置・保守担当者の資質要件

- 以下の知識および操作技能に加え、ミキシングコンソールの設置・保守に関する資格または実務経験、および関連業務を遂行する資格を有すること。
- - ミキシングコンソールシステムおよびその構成部品に関する基礎知識と設置技能を有すること。
- - 低電圧配線および低電圧電子回路の配線に関する基礎知識と技能を有すること。
- ネットワークセキュリティに関する基礎知識と技能、および本マニュアルの内容を読み理解する能力。

目次

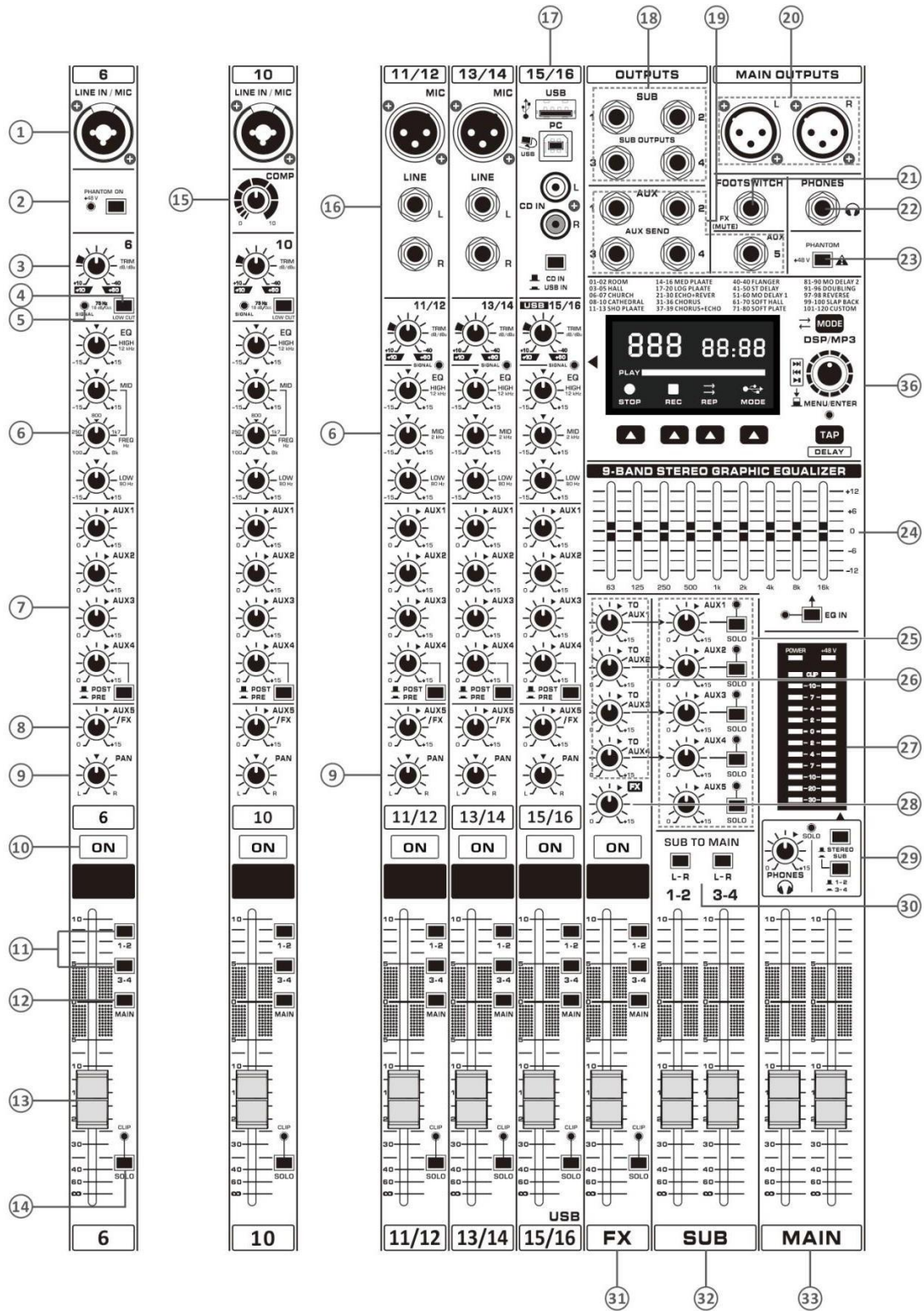
第1章	設置例図	1
第2章	機能の使用方法的説明	2-6
第3章	エフェクト設定とモジュレーションの手順	7-12
	3.1 メニューモード。	7
	3.2 メニュー構造。	8
	3.3 FX1/FX2の編集	8-9
	3.4 FXコントロール設定	10
	3.5 MP3プレーヤーの操作	11
	3.6 設置手順	12
第4章	技術仕様	13-14
第5章	トラブルシューティング	15

第1章 導入事例 図



第2章

機能の説明 の使用方法



1. MIC/LINE入力ジャック

バランス XLR タイプのマイク入力ジャック、およびアンバランス TRS ヘッドフォンタイプの楽器入力ジャックを接続することができます。

2. 48V ファンタム電源スイッチ

「PHANTOM」スイッチは、入力チャンネルのXLRジャックへのファンタム電源を有効にします。コンデンサーマイクを使用するには、+48 Vのファンタム電源が必要です。LEDが点灯すると、ファンタム電源がオンになっていることを示します。ダイナミックマイクは、バランス接続であれば通常使用可能です。不明な場合は、マイクメーカーにお問い合わせください。

3. TRIMノブ

入力信号レベルを調整します。S/N比とダイナミックレンジの最適なバランスを得るには、最大入力過渡時にCLIPインジケータが時折、短時間点灯するようにゲインを調整してください。MIC入力調整範囲：+10～+60dB。LINE入力感度調整範囲：+10～-40dB。

4. LOW OUTスイッチ

また、コンソールのモノラルチャンネルには急峻なローカットフィルターが搭載されており、75Hz以下の周波数を18dB/オクターブのスロープで減衰させることで、低周波信号の不要な成分を除去することができます。

5. SIGNAL LED

最適な動作レベルに達すると、このLEDが点灯します。

6. イコライザー

すべてのシングル入力チャンネルには、セミパラメトリックなミッドレンジを備えた 3 バンドのトーン調整ノブが装備されています。各バンドは最大 15 dB まで上げ下げが可能で、イコライザーは中央の位置では効果を発揮しません。高域および低域バンドは、12 kHz および 80 Hz で利用可能です。中域のチューナーには、100 Hz から 8 kHz までのセミパラメトリックタイプのトーン調整機能があります。トーンは MID 調整ノブで上げ下げし、周波数は FREQ 調整ノブで調整します。

7. AUXノブ

AUXノブは、プリフェーダー信号（フェーダーで調整される前の信号）のレベルを調整します。AUX4のPREスイッチを使用すると、AUX4を選択できます。PREスイッチを押すとプリフェーダー（フェーダーで調整される前の信号）が、POSTスイッチを切り替えるとポストフェーダー（フェーダーで調整された後の信号）がAUXバスに送られます。

8. FXノブ

このFXノブは、フェーダーを経由した後にFXバスへ送られる信号のレベルを調整するために使用します。

9. PAN ノブ

PAN (Positioning Acoustic Pan) ノブの調整は、ステレオフィールド内でのチャンネル信号の位置を決定するために使用されます。グループ化を使用する場合、信号を SUB1 (PAN ノブを左端に回した場合) または SUB2 (ノブを右端に回した場合) に割り当てることができます。

PAN (バランス) ノブは、モノラル時のPANノブに相当し、L-R入力信号が左右 (MAIN MIX) のマスターミックスバス (それぞれ奇数番と偶数番)。

10. ON ボタン

このスイッチがオンになっていると、対応するチャンネルの信号がバスに送られ、スイッチが点灯します。このスイッチがオフになっていると、対応する信号入力は AUX バスまたは SUB バスに送られません。 [ON] スwitchがオフの場合でも、各チャンネルの SOLO 信号は [PHONES] ソケットからモニターすることができます。

11. 1/2/3-4 ボタン

このスイッチをオンにすると、対応するチャンネルの信号を SUB バスに送ることができます。

12. MAIN ボタン

このスイッチがオンの場合、対応するチャンネルの信号がステレオ (MAIN MIX) メインミックス・バスに送られます。

13. フェーダー・チャンネル

チャンネル信号のレベルを調整するために使用します。これらのコントローラーを使用して、複数のチャンネル間のバランスを調整します。

14. SOLOボタンとCLIPランプ

このスイッチをオンにすると、対応するチャンネルフェーダーの手前の信号がモニタリングされ、フェーダーの手前の対応するチャンネルの入力レベルがレベルメーターに表示されます。SOLO スwitchをオンにすると、対応する LED が点灯します。

CLIP LEDが点灯している場合は、入力レベルが高すぎます！

15. COMPノブ

チャンネルに適用されるコンプレッションの効果量を調整します。[COMP]ノブを右に回すと、スレッシュホールド、レシオ、出力ゲインが同時に調整されます。

スレッシュホールド : +22dBu ~ -8dBu

レシオ : 1:1 ~ 4:1

出力ゲイン : 0dB ~ +7dBアタ

アタックタイム : 約25ms

リリース時間 : 約300ms

16. MIC/LINEステレオ入力

バランス XLR マイク入力ジャックとアンバランス TRS ヘッドフォンステレオ入力ジャックに接続可能。

17. USB/PC/RCA入力

USB インターフェースは、USB フラッシュドライブに挿入して音楽や録音を再生したり、サウンドカードを搭載したコンピュータに接続して音楽や録音を再生したりすることができます。

RCA タイプのアンバランス・ステレオ入力インターフェース。

USBとRCAは同時に使用できません。ボタンを押すだけで、MP3 INとCD INを切り替えることができます。

18. SUB 1/2/3/4 グループ出力端子

マルチトラックレコーダー、外部ミキシングコンソール、その他の機器を接続するための入力端子。

19. AUX 1/2/3/4/5 SEND ソケット

外部エフェクト機器やステージ/スタジオモニターに接続します。

20. MAIN OUT (L, R) メイン出力ソケット

ミキシングコンソール用のステレオ出力が利用可能です。左右チャンネルのステレオ出力がミックスされ、ステージリターンアンプで使用されます。

例えば、これらのジャックを使って、メインスピーカーを駆動するパワーアンプに接続することができます。

21. フットスイッチ - フットスイッチ用ソケット

フットスイッチを接続して、エフェクターの出力をオンまたはオフに制御することができます。

22. PHONES ヘッドフォンモニタージャック

出力信号をモニターするために、ステレオヘッドフォンを接続することができます。

23. 48V ファンタム電源ボタン

ファンタム電源が供給されると、赤い 48V LED が点灯します。コンデンサーマイクにはファンタム電源が必要です。

24. イコライザー

9バンド・グラフィック・イコライザーを搭載しています（グラフィック・イコライザーはメイン出力にのみ影響します）。EQはEQ INボタンでオンにでき、特定の空間に合わせて音色を調整することができます。「0」の位置では、周波数特性への処理は行われません。周波数帯域を1つ増やすには、対応するフェーダーを上下に動かしてください。

25. AUXノブ

AUXノブ：AUX出力の音量を調整します。

26. TO AUXノブ

TO AUXノブ：AUX設定のエフェクトプロセッサからのエフェクト信号を調整します。

27. レベルインジケータ

レベルメーターのLEDは、メイン出力およびモニター信号のレベルを表示し、出力信号がクリッピングレベルに達するとCLIPインジケータが点灯します。

28. FXノブ

FXノブは内蔵エフェクトプロセッサに信号を送ります。

29. モニタリングコントロール

PHONESノブはモニター出力の音量を調整します。モニター出力は、MAINまたはSUB出力を選択するボタンと、SUB1/2-3/4出力を選択するボタンによって選択されます。

30. SUB TO MAIN ボタン

このスイッチをオンにすると、SUBからのLEFTまたはRIGHT信号が（MAIN MIX）マスターミックスに割り当てられます。

31. FX フェーダー

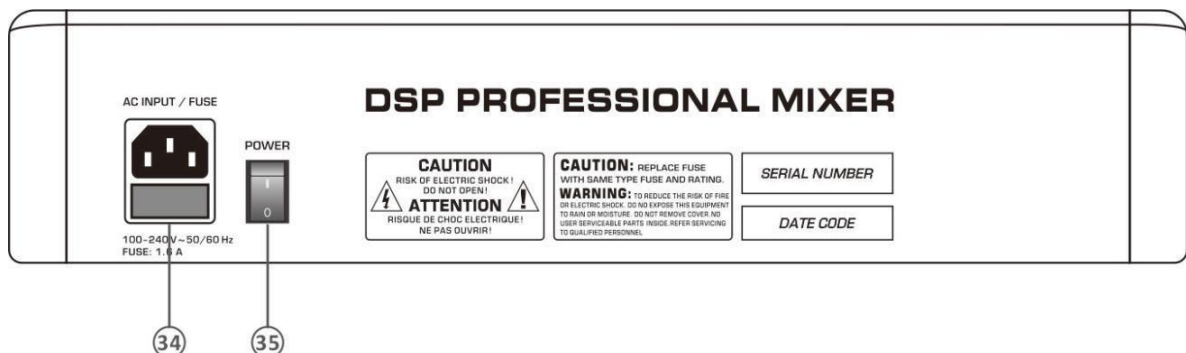
FXフェーダーの調整（MAIN MIX） Main Mixは、エフェクトプロセッサのエフェクト信号を設定します。

32. SUB フェーダー

SUB フェーダーは、SUB 出力の音量を調整するために使用します。

33. FXフェーダーFXフェーダー（MAIN MIX）は、エフェクトプロセッサのエフェクト信号を調整します。

MAINフェーダーは、メイン出力の音量を調整します。



34. ヒューズホルダー／IECソケット

電源接続はIECソケットを介して行われます。これは必要な安全

規制に準拠しています。また、適切な電源コードも付属品に含まれています。ヒューズを交換する際は、必ず同じモデルの

35. 電源スイッチ

POWERスイッチでミキシングコンソールを起動してください。電源に接続する際は、POWERスイッチを「オフ」の位置にしてください。

ご注意：電源スイッチをオフにしても、本機は電源から完全に切り離されるわけではありません。そのため、長期間使用しない場合は、電源コードをコンセントから抜いてください。

機器の電源を頻繁かつ素早くオン/オフすると、故障の原因となる場合があります。電源を切った後は、少なくとも6秒間待ってから再び電源を入れてください。

第3章 エフェクト設定とモジュレーション の手順

エフェクトおよびMP3機能の操作

FX1とFX2という、独立して制御可能で同一構成の32ビット・ステレオ・エフェクト・ユニットが2つ用意されています。各ユニットには100種類のプログラム・プリセットがあり、アップ/ダウンボタンを使用して選択します。プリセットのパラメータは編集可能で、ユーザー・プリセット（101～120）として保存できます。詳細は

図5. 100種類のプリセットは、エフェクトの構成の違いに応じてグループ分けされています。各プリセットグループ内のプログラムは番号順に並んでおり、番号が大きいくほど、そのエフェクトの種類は強力になります。プリセット1～20は、ライブパフォーマンス、スタジオ、ホームレコーディングのいずれにも適した、高品質なリバーブエフェクトプログラムを提供します。プログラム番号21～40はエコー+リバーブやコーラスエフェクトを組み合わせたものを、41～60は様々なディレイエフェクトを提供します。最後のグループである61～100は、様々なダブリングエフェクトのプリセットに加え、特殊なディレイやリバーブプログラムを提供します。FXユニットの初期化時（電源投入時）、FX1にはプリセット05（BRIGHT HALL、LARGE HALL 3）がFX1に選択され、FX2ユニットはプリセット55（MONO DELAY、230ms 40%）に設定されます。どちらのエフェクトも、ライブパフォーマンスやレコーディング用途に等しく適しています。これは工場出荷時のプリセット設定であり、いつでも変更可能です。

3.1 メニュー モード

(3.1.1) エフェクトモードでMENU/ENTERロータリーエンコーダーを押すと、メニューモードに入ります。メニューモードに入ると、メインメニューが表示されます。

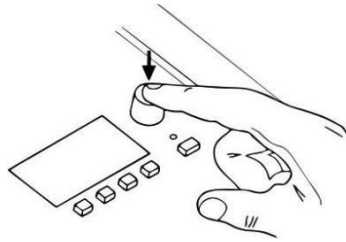


図 (3.1.1) : MENU/ENTER を押すと、エンコーダーが回転してメニューモードになります。

(3.1.2) メニューモードでは、MENU/ENTER ロータリーエンコーダとディスプレイ下部の4つのファンクションキーを使用して、ナビゲーションやパラメータの選択・編集を行います。MENU/ENTER ロータリーエンコーダを左右に回すと、メニュー内のカーソルが移動します。MENU/ENTER ロータリーエンコーダを押すと、ハイライト表示されたメニュー項目が選択または実行されます。メニュー項目がハイライト表示されると、対応するダイアログボックスが開きます。パラメータがハイライトされている場合、その値は反転表示され、MENU/ENTERロータリーエンコーダを回すことで編集できます。MENU/ENTERロータリーエンコーダをもう一度押すと、編集したパラメータ値が適用されます。ディスプレイ下部の行には、4つのファンクションキーの機能が示されています。以下の表は、メニューダイアログボックスで使用可能な機能の一部を説明しています。

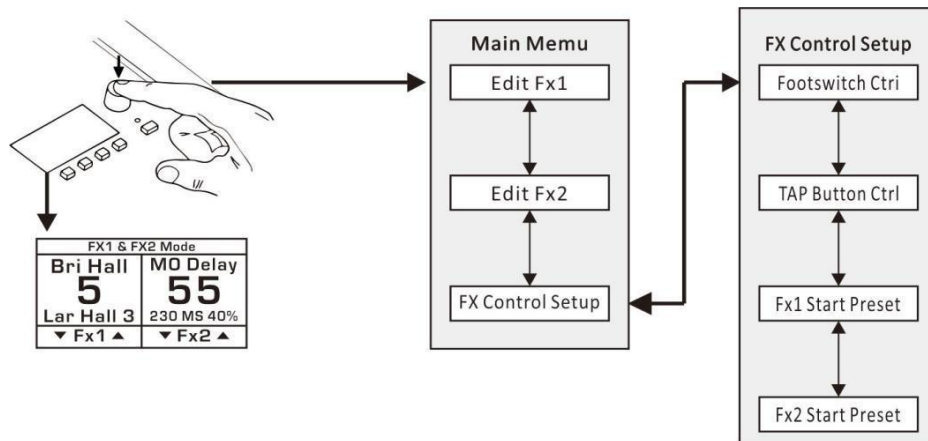
図 (3.1.2): メニューモードのメインメニュー

Main MENU	
Edit FX1	
Edit FX2	
FX Contro1 Setup	
ESC	

(3.1.3) ファンクションキー 機能 説明

BACK	前のメニューレベルに戻ります。
ESC	ダイアログの編集をすべて終了し、エフェクトモードに戻ります。
◀ or ▶	カーソルを左または右に移動します。
保存	FXユーザープリセットリストを開き、編集したエフェクトをユーザープリセットとして保存します。
OK	アクセスの確認。たとえば、ユーザープリセット名を編集する場合など。

3.2 メニュー 構造



3.3 編集 FX1/FX2

(3.3.1) このダイアログでは、エフェクター FX1 または FX2 のエフェクトパラメータを編集できます。使用可能なパラメータは、図 4.4 に詳述されているように、エフェクトの種類によって異なります。さらに、編集対象のエフェクトに独自の名前を割り当て、ユーザープリセットとして保存することができます。最大 20 個のユーザープリセットを作成できます。

EditFx	Bri Hall	05
Predelay	:	100MS
Reverb Decay	:	80
Diffusion	:	50
SAVE	BACK	ESC

図 (3.3.1): FX1 編集ダイアログボックス

(3.3.2) MENU/ENTER ロータリーエンコーダを回して、「Edit FX」メニューの左側の列にある項目をハイライト表示します。ロータリーエンコーダの MENU/ENTER キーを押して、右側の列にある対応する値を選択します。次に、MENU/ENTER ロータリーエンコーダを回して値を編集します。もう一度 MENU/ENTER キーを押すと、左側の列に戻ります。SAVE ファンクションキーを押して、編集したエフェクトをユーザープリセットとして保存します。「FX ユーザープリセット」ダイアログボックスが表示されます。

FX1 User Presets	
101 :	-- EMPTY --
102 :	-- EMPTY --
103 :	-- EMPTY --
104 :	-- EMPTY --
BACK ESC	

図 (3.3.2): FXユーザープリセットダイアログボックス

(3.3.3) MENU/ENTER ロータリーエンコーダを回して、編集したユーザープリセットエフェクトを保存する場所を選択します。MENU/ENTER ロータリーエンコーダを押すと、「Set FX Name」ダイアログボックスが開きます。

Set Fx Name	
⏮	A B C D E F G H I J K L M
■	-----
⏪	⏩ OK BACK

図 (3.3.3) : [Set FX Name] ダイアログボックス

(3.3.4) このダイアログボックスは、ユーザープリセットの説明情報を変更するために使用します。MENU/ENTER ロータリーエンコーダを左右に回して、ハイライト表示されている文字を編集します。MENU/ENTER ロータリーエンコーダを押して目的の記号を選択し、カーソルを次の文字に移動させます。

◀ または
 ▶ ファンクションキーを押して、カーソルを左右に移動させます。 「 ⏮ 」 記号を選択するか、⏮
 」キーを押して、名前の編集を終了します。BACK ファンクションキーを押して、メニューに戻ります。

3.4 FXコントロールの設定

(3.4.1) このダイアログは、エフェクト FX1 または FX2 を設定するために使用されます。また、エフェクトを有効にした際のデフォルトのエフェクトを選択するためにも使用されます。

Fx Contro1 Setup	
Footswitch Ctrl	:FX1+2
TAP-Button Ctrl	:FX1+2
FX1 Start Preset	: 05
FX2 Start Preset	: 55
BACK ESC	

図 (3.4.1) : FX コントロール設定ダイアログボックス

(3.4.2) FX コントロールの設定パラメータ

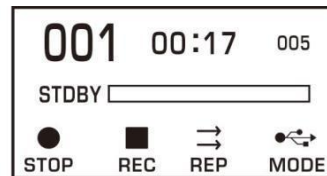
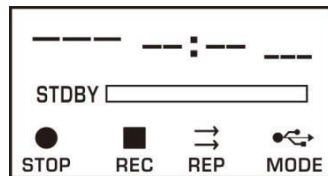
パラメータ	説明
フットスイッチ Ctrl	FX1、FX2、または FX1+2 を選択して、フットスイッチを使用して 1 つまたは 2 つのエフェクトを制御します。
TAP-Button Ctrl	FX1、FX2、またはFX1+2を選択し、TAPボタンを使用して1つまたは両方のエフェクトのディレイタイムを制御します。
FX1 スタートプリセット	エフェクター-FX1：エフェクターの電源投入時にデフォルトで選択されるエフェクトです。
FX2 スタートプリセット	「Effector FX2」は、エフェクターがオンのときにデフォルトのエフェクトを選択します。

(3.4.3) MENU/ENTER ロータリーエンコーダを回して、[FX Control Setup] ダイアログボックスの左側の列にある項目をハイライト表示します。MENU/ENTER ロータリーエンコーダを押して右側の列にある対応する値を選択し、MENU/ENTER ロータリーエンコーダを回して値を編集し、もう一度 MENU/ENTER ロータリーエンコーダを押して新しい値を適用します。表には [FX Control セットアップ]ダイアログボックスの項目は、表（図4.4）に示されています。BACKファンクションキーを押してメニューに戻ります。ESCファンクションキーを押してエフェクトモードに戻ります。

(3.4.4) エフェクトプリセット

No.	Effect group	Description	Suitable for use
01-10	Bright Hall	Bright reverb, concert hall, church, cathedral	Vocals, Horn, Strings
11-20	Bright Plate	Bright plate, no audible reflections	Piano, Guitar, Drums, Vocals
21-30	Echo+Reverb	Bright echo/reverb mix	Specially for Live vocals, strings, horns
31-33	Chorus	Light chorus	Piano, Guitar, Bass, Rhodes, Strings
34-36		Deep chorus	Organ, Piano, Guitar, Bass, Rhodes, Strings
37-39	Chorus+Echo	Deep chorus with fading echo	Organ, Guitar, Strings
40	Flanger	Real late sixties jet flanger	Drums, Percussion, Bass, Strings, Vocals
41-50	Stereo Delay	L/R echoes	Combined with a reverb effect well suited for vocals, horns, strings
51-60	Mono Delay	Centered echoes, slowly fading (40% feedback)	Combined with a reverb effect well suited for vocals, horns, strings
61-70	Soft Hall	Extremely smooth reverb, concert hall, church, cathedral	Vocals, Horns, Strings, Home recording
71-80	Soft Plate	Smooth plate, no audible reflections	Piano, Guitar, Drums, Vocals, Home recording
81-90	Mono Delay	Centered echoes, vastly fading (20% feedback)	Fast fading slap back echoes for vocals, percussion. Combined with a reverb effect well suited for vocals, horns, strings
91-92	Doubling	Doubling effect without coloration	Vocals, Horns, Strings, Organ
93-96		Doubling effects	Snare drum, Kick drum
97-98	Reverse	Reverse reverb	Snare drum, Kick drum
99	Slap-Back	Fast slap back echo without repeats	Vocals, Kick drum, Snare drum
100		Slow slap back echo without repeats	Vocals, Kick drum, Snare drum

3.5 MP3 プレーヤーの操作



(3.5.1) ボタンの説明：(STOP) 再生停止、(REC) 録音モード、(REP) シーケンスおよびループ再生の切り替え、(MODE) USB フラッシュディスクの再生および Bluetooth の切り替え。

(3.5.2) MODE ボタンを使用して、DSP と MP3 のインターフェース動作を切り替える。

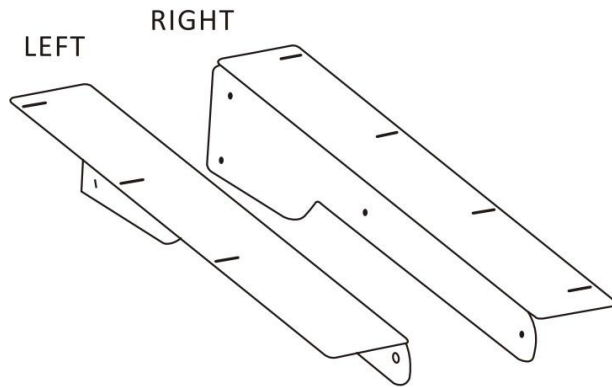
(3.5.3) MP3 表示画面で、USB フラッシュドライブを挿入してトラックを読み込み、ロータリーエンコーダーの MENU/ENTER キーを押して再生・一時停止を行い、ロータリーエンコーダーを回してトラックを前後に切り替えます。

(3.5.4) 録音操作と再生：REC ボタンを押して録音開始モードに入ります。録音中は、ロータリーエンコーダーの MENU/ENTER ボタンを押して録音を一時停止できます。録音が完了したら、STOP ボタンを押して録音を停止します。録音フォルダに入って、現在録音されたファイルを再生します。また、MENU/ENTER ロータリーエンコーダーを回して再生する録音トラックを選択することも可能です。REC ボタンを長押しすると録音モードを終了し、MP3 再生モードに切り替わります。

3.6 設置手順

(3.6.1) キャビネットの設置

このコンソールには、ケーブル接続のスペースを含めて、最低12Uのキャビネットスペースが必要です。キャビネットの寸法：10U 約445mm、11U 約489mm、12U 約533mm、14U 約623mm。コンソールの梱包には、コンソールの両側に取り付け可能な組み立て用キャビネットサイドパネルが2枚同梱されています。キャビネットサイドパネルをコンソールに取り付ける前に、まず元の左右のサイドパネルからネジを取り外してください。その後、キャビネットサイドパネルに付属のネジを使用して、2枚のサイドパネルを取り付けてください。左右のサイドパネルには左右の区別がある点にご注意ください。取り付け後、ミキサーを一般的な12Uラックに設置してください。ユニットの過熱を防ぐため、常に十分な通気性を確保してください。



Rack fittings



①Side plate screws KM4X6mm

(3.6.2) ソケットおよびプラグの一覧

MIC/LINE, MIIC STEREO OUT	Pin 1: Ground Pin 2: Hot (+) Pin 3: cold (-)	 IN PUT OUT PUT
MIC/LINE, AUXSEND SUB OUT, MONO OUT STEREO OUT	Tip: hot (+) Ring: cold (-) Sleeve: Ground	 TRS headphone connection plug
PHONES	Tip: L Ring: R Sleeve: Ground	
LINE (STEREO IN PUT CHANNEL)	Tip: hot (+) Sleeve: Ground	 TS PHONE type plug
EFFECT MUTE FOOT SWITCH	Tip: trigger Sleeve: Ground	

第4章 の技術仕様

Microphone input (MIC preamplifier)	
Type	XLR, balanced, Discrete input circuit
MIC E. I. N(20Hz-20KHz)	
@00 Source impedance	-134dB/135.7dB A-Weighted
@500 Source impedance	-131dB/133.3dB A-Weighted
@1500 Source impedance	-129dB/130.5dB A-Weighted
Frequency response	< 10Hz-150KHz (-1dB) < 10Hz-200KHz (-3dB)
Gain range	+10to+60dB
Maximum input level	+12dBu@+10dB gain
Impedance	About 2.6KΩbalanced
Signal-to-noise ratio	110dB / 112dB A-Weighted (0dB u l n @ + 2 2 dB g a i n)
Distortion (total harmonic distortion + noise)	0.005%/0.004%A-Weighted
Type	6.3-mm-stereo channel, unbalanced
Impedance	About 20 KΩ unbalanced 10 KΩ unbalanced
Gain range	+10 to -40
Maximum input level	+22dBu@0dB gain
Signal attenuation (crosstalk attenuation)	
Main output fader off	90dB
Channel mute	89dB
Channel fader off	89dB
Frequency response	
Microphone input to main output	
< 10Hz-90KHz	+0dB/-1dB
< 10Hz-160KHz	+0dB/-3dB
Stereo input	
Type	6.3-mm-stereo channels, unbalanced
Impedance	About 10KΩ
Maximum input level	+22dBu
Balanced mono	
Low	80Hz/±15dB
Mid Sweep	100Hz-8KHz/±15dB
High	12KHz/±15dB
Balanced stereo channel	
Low	80Hz/±15dB
Mid	2KHz/±15dB
High	12KHz/±15dB
Aux Send auxiliary output	
Type	6.3-mm-Mono, unbalanced
Impedance	About 120Ω
Maximum output volume	+22dBu
Sub grouping output	
Type	6.3-mm-Mono, unbalanced
Impedance	About 120Ω
Maximum output volume	+22dBu
Main output	
Type	XLR, balanced, 6.3mm stereo channel plug, balanced
Impedance	About 240Ω balanced, 120Ω unbalanced
Maximum output volume	+22dBu
Headphone output	
Type	6.3-mm-Stereo channel
Maximum output volume	+19dBu/150Ω (+25dBm)
Digital effector (DSP)	
Converter	32-bit digital-to-analog converter 64/128-times (sampling rate)
Scan speed	40KHz
Main Mix system data	
Noise	
Master fader-∞	-101dB
Channel fader-∞	-100dB
Master fader0dB	-93dB
Channel fader-∞	-96dB
Master0dB	-81dB
Channel fader0dB	-83dB
Power supply	
voltage	110-220V~, 50~60Hz
Power consumption	8CH/20W 12CH/30W 16CH/35W 24CH/40W
Fuse	110-240V~ : T1.6A 250V
Power cable	Standard IEC interface

Dimensions	
8CH size	88*360*493.5mm
12CH size	88*400*493.5mm
16CH size	88*494*493.5mm
24CH size	88*698*493.5mm
Net Weight	
8 CH	5.15 kg
12 CH	5.75 kg
16CH	7.0 kg
24CH	9.9 kg

第5章 トラブルシューティング

The power won't turn on.	☐ Is the console connected to a separate power source (generator, etc.) or an electrical outlet with a switch? Check that the unit is switched on.
No sound output	☐ Are external instruments (including microphones) and speakers connected correctly? ☐ Are the connection cables shorted? ☐ Are the [GAIN] knobs, channel faders, master faders, and [SUB] faders of each channel set to the appropriate level? ☐ Are the BUS DISTRIBUTION switch and [CD/MP3] switch set correctly?
No sound output from STEREO OUT jacks	☐ Are the [ON] switch and [MAIN] switch of the channel used turned on?
No sound is output from the SEND (AUX1-4) jacks.	☐ Are the [SEND MASTER] knob and [AUX 1-2] settings for each channel correct? ☐ Is the [ON] switch on for the channel you are using?
No sound output from the [PHONES] jack.	☐ Is the [SOLO] switch for channels not in use turned on? ☐ Turn off the [SOLO] switch.
Low, distorted or noisy sound	☐ Is the microphone connected to the [MIC] jack or [MIC/LINE] jack? ☐ Is the [PHANTOM +48V] switch turned on when using a condenser microphone? ☐ Is the [PAD] switch on? Turn this switch off when using a low output level sound source such as a microphone. ☐ Is the output signal level of the instrument connected to the mixer set correctly? ☐ When the output level of the connected instrument is +0dBu, either turn on the [PAD] switch on the mono channel, or use the stereo input channel. ☐ If an input channel provides both XLR input jacks and phone type input jacks, or both phone type input jacks and RCA pin jacks, are both jacks connected? Please use only one type of jack. ☐ Are the [GAIN] knobs, channel faders, master faders, and [SUB] faders of each channel set to the proper level? ☐ Is the effect or compressor level too high? Use the [FX] knob, [FX] fader and [COMP] knob to lower the level.
Cannot use effects	☐ Are the [FX] knobs for each channel adjusted to the proper level? ☐ Are the [FX] faders adjusted to the proper level? ☐ Is the [FX] bus assignment switch set correctly? ☐ If an external effect unit is connected to the [SEND(AUX1-2)] socket, is the [AUX1-2] knob of [SEND MASTER] set correctly?
Audio sound is not clear	☐ Is the [HPF] switch on? ☐ Is the equaliser adjustment ([HIGH]/[MID]/[LOW]) correct?
No output from console signal	☐ Are active speakers connected to the [MONO OUTPUTS] jacks? Adjust the signal output from the [MONOOUTPUTS] jack with the [MONO] fader.
Different left and right levels of stereo input signals	☐ Is [PAN] set to the centre position? If the image is set to the centre, try reversing the left and right input connections. If the left and right signals are reversed and the lower volume side is also reversed, check the instrument or device that is the source of the signal. ☐ Are certain types of cables being used to connect both left and right input signals? Cables with built-in impedance attenuate the signal.
The sound level is unstable and inconsistent.	☐ Is the compression level set too high? Adjust the reduced level with the [COMP] knob.



遠くを見据え、さらに先へ